

**【理工学研究科 機械電子制御工学専攻・電子情報工学専修】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標**

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
機械電子制御工学専攻・ 電子情報工学専修	D	DP1：機械電子制御工学の専門知識に加えて電子工学および情報工学の専門知識と先進的な諸技術を併せ持ち、これらを活用する能力	機械電子制御工学専攻の共通科目の成績評価により、機械電子制御工学、電子工学、情報工学の先進的技術を活用する能力を測定・評価する。
		DP2：電子情報工学に関する分野の課題を自立して設定し解決する能力	機械電子制御工学専攻の共通科目および専門科目の成績評価により、電子情報工学に関する課題を自立して設定して解決する能力を測定・評価する。
		DP3：自らの専門分野に関する課題やその解決法を論理的に表現でき、円滑な意思疎通を通して、他の技術者と相互理解し、協働を可能にするコミュニケーション能力	中間審査、博士論文の審査、最終試験における質疑応答をととして、課題やその解決方法を論理的に表現する力および総合的な技術コミュニケーション能力を測定・評価する。

**【理工学研究科 機械電子制御工学専攻・機械システム工学専修】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標**

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
機械電子制御工学専攻・ 機械システム工学専修	D	DP1：機械電子制御工学の専門知識に加えて制御工学および機械工学の専門知識と先進的な諸技術を併せ持ち、これらを活用する能力	機械電子制御工学専攻の共通科目の成績評価により、機械電子制御工学、制御工学、機械工学の先進的技術を活用する能力を測定・評価する。
		DP2：機械システム工学に関する分野の課題を自立して設定し解決する能力	機械電子制御工学専攻の共通科目および専門科目の成績評価により、機械システム工学に関する課題を自立して設定して解決する能力を測定・評価する。
		DP3：自らの専門分野に関する課題やその解決法を論理的に表現でき、円滑な意思疎通を通して、他の技術者と相互理解し、協働を可能にするコミュニケーション能力	中間審査、博士論文の審査、最終試験における質疑応答をとおして、課題やその解決方法を論理的に表現する力および総合的な技術コミュニケーション能力を測定・評価する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	研究指導の改善に活用。	授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	研究科で定める全専攻共通の学位論文審査基準の達成度の評価に活用。	学位プログラムレベル／授業科目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施